

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	小・中学校環境整備事業						
担当部署・課長名	学校教育部	教育総務	課	施設	係	課長名	中橋 健

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。		施策番号	1 - 1	-
【施策名】 学校教育の充実		総合計画書 (ページ)	31	

予算名	款 <sup>10</sup>	教育費	項 <sup>2,3</sup>	小・中学校費	目 <sup>1</sup>	学校管理費	事業 <sup>2</sup>	小・中学校環境整備事業費
-----	-----------------	-----	------------------	--------	----------------	-------	-----------------	--------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	市内小・中学校における学習環境	→ 環境整備事業に計上された全事業数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
	計画的に整備された良好な学習環境	→ 改修、整備を実施した学校整備事業数
③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)	
	[小学校施設修繕、施設維持改修工事 ① 第一小学校外4校トイレ洋式化工事 ② 第三小学校・第五小学校体育館バスケットゴール耐震化工事 ③ 小学校特別教室等冷房設備設置工事(10校) ④ 第五小学校プールブロック解体工事 ⑤ 第五小学校プールフェンス設置工事 ⑥ 高圧受電用区分開閉器取替工事(6校) ⑦ 小学校南門等防犯カメラ更新工事 ⑧ 第四小学校プール改修工事 ⑨ 小学校オイルタンク補修工事 ⑩ 第四・第八小学校校庭芝生化維持管理 [中学校] 施設修繕、施設維持改修工事 ① 第一中学校外3校特別活動教室等冷房設備設置工事 ② 第二中学校音楽室冷房設備設置工事 ③ 中学校体育館バスケットゴール耐震化工事(5校) ④ 第一中学校コンクリート組立解体工事 ⑤ 高圧受電用区分開閉器取替工事(2校) ⑥ 第四中学校陶芸用電気炉撤去工事 ⑦ 第一中学校北側フェンス設置工事 ⑧ 第二中学校北側フェンス改修工事 ⑨ オイルタンク補修工事(3校) ⑩ 第二中学校非常放送設備取替工事 ⑪ バスケットゴールの購入	→ 全ての事業を実施した。

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	事業	13	16	21	
	成果指標	②の数値	事業	13	16	21	
	目 標	②の目標値	%	100	100	100	
		目標値設定の考え方	計画的な改修、整備を実施し学習環境を確保する。				
活動指標	③の数値	事業	13	16	21		

3 経費	事業費(実績)	円	195,366,526	491,188,681	464,933,995	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	51,151,387	39,216,681		8,357,995
		特定財源	円	144,215,139	451,972,000		456,576,000
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	5.0	4.0		4.0
		所要人数(再任用)	人				
		職員人件費(再任用以外)	円	41,265,000	33,012,000		32,976,000
職員人件費(再任用)	円						
事業費+人件費	円	236,631,526	524,200,681	497,909,995			

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
	当市では建設時から40年以上経過している学校が多く、現行法に適合しない部分や経年劣化による危険箇所等、安全確保のための対策が必要となっている。その為、適正な教育環境の確保を目的とした改修工事が重要となっている。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 施設の老朽化が進んできているため、必要となる環境整備事業が増えている。施設全体が老朽化しているため、計画的な改修が求められている。

仕 事 の 内 容	小・中学校環境整備事業						
担当部署・課長名	学校教育部	教育総務	課	施設	係	課長名	中橋 健

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について					
	施設の老朽化が進んでいるため、各学校や保護者、市民の方から施設改修の要望が多く寄せられている。					
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）					
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点					
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容					
	学校トイレの洋式化する便器数を増やしたことにより事業数が増加したため、今まで以上に国や東京都の補助金による歳入を視野に入れていく必要があった。また、トイレ改修や冷房設置に対する国の補助金の採択状況は厳しいものであった。					
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。					
	東京都の補助金を有効活用し市の財政負担を最小限に抑えた。					
8 今後の方向性	(3)(2)を踏まえた今後の課題					
	引き続き国や東京都の動向を注視し、市の財政や改修工事の平準化を図るべく計画していく。					
	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）					
	トイレ改修工事に限らず、国の補助金採択状況は年々厳しくなってきている。その為、国や東京都の補助金採択条件の優先度を見極めながら事業計画を立てていく必要がある。					
今後の方向性	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等					
	国や東京都が推し進めていこうとしている事業や施策について情報収集に努めながら動向に注視していく。また、全ての学校施設を良好な環境に保つには、市としても多くの財源が必要となってくることから、改修工事計画を立案することも困難な状況である。今後は市の公共施設総合管理計画に基づく学校施設の個別施設計画を策定し、トータルコストの削減や予算の平準化を図りながら事業を実施していく必要がある。					
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。					
成果	成果を向上させる。			経費	仕事の経費を増加させる。	